

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

# あかみね政賢 国会だより

月刊 No.1

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】  
〒900-0016 那覇市前島3-1-17  
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1  
衆議院第一議員会館1107号室  
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

## 沖縄を戦場にさせない 安保3文書の撤回求める

一月二三日に開会した通常国会。最大の焦点は、敵基地攻撃能力の保有と大軍拡・増税を進める安保三文書です。赤嶺政賢議員は、県民の平和のこころを国会に届け、三文書の撤回を求めて大奮闘しています。

二月の予算委員会では、長射程ミサイルの沖縄配備が取りざたされる中、本土に出てくる若者の間で将来島に帰れるかを心配する声が上がっていることを紹介し、「政治の責任を果たしていかない」と追及。三月の憲法審査会では、沖縄戦を体験した元全学徒の会が出した声明を取り上げ、憲法九条



衆院予算委員会(2023年2月8日)

後、葉書タイプの「アカミネセイケン国会だより」があること。三つには、年内総選挙の可能性が高いこと、です。月刊は、赤嶺政賢国会事務所の協力を得て、発行していきます。

に基づく徹底した外交努力を求めました。四月の本会議では、日米一体の敵基地攻撃能力増強が地域の緊張を生み、戦争の危険を引き寄せると批判し、東アジアで包摂的な平和の枠組みを進展させる外交にこそ取り組むべきだと訴えました。

同月の安保委員会では、国内の軍需産業の設備投資や武器輸出に国が財政支援する「軍需産業支援法案」を追及。「共産の赤嶺政賢氏は「採算も効率も度外視して施設を買い取り、増強し、製造をさせる。究極の軍需産業支援にほかならない」と批判した」(五月九日付「朝日」)など、本土紙でも取り上げられています。

## 月刊発行にあたって

あかみね政賢国会だより

編集委員会責任者 大城辰彦

赤嶺政賢さんが二〇〇〇年 年二〜三回の発行で二〇数年に古堅実吉さんの後を継いで 続いてきました。

衆議院議員に当選後、九月に「あかみね政賢国会だより」(第一号)が発行されました。その

後、葉書タイプの「アカミネセイケン国会だより」があること。三つには、年内総選挙の可能性が高いこと、です。月刊は、赤嶺政賢国会事務所の協力を得て、発行していきます。

月刊は、赤嶺政賢国会事務所の協力を得て、発行していきます。



まご(孫)が小学校年生になった。重いランドセルを背負って長い坂をのぼって高台にある学校に通っている

▼放課後は児童保育所だ。ドッジボール、サッカー、野球、バスケット、けん玉といろんなことを覚えてきて、汗をいっぱいかいて遊んでいる▼最近の教員不足のなかで、クラス担任がちゃんと配置されるかどうか不安だった。幸い担任も決まった。家庭訪問もあつたらしい▼ところで、教員不足は全国各地で起こっている。政府は二〇〇五年以降、正規教員を増やす計画をストップし、人件費が低い非正規を増やしている。教育に臨時はない▼政府は公教育の責任を放棄している。そんな政治を転換させるためにじじいは頑張る。



「あちこーこー豆腐」の存続を

# 安全性と事業継続を両立 できるよう政府に検討求める

四月二六日の衆議院沖縄北方特別委員会で「あちこーこー豆腐」の存続の危機について取り上げた赤嶺議員。二〇一八年の食品衛生法改正に伴い、国際的な衛生管理基準 HACCP に沿った手引書が適用されたことで、豆腐屋を営む県内の小規模事業者が、販売数の減少や事業継承の危機に直面しています。

四月二六日の衆議院沖縄北方特別委員会で「あちこーこー豆腐」の存続の危機について取り上げた赤嶺議員。二〇一八年の食品衛生法改正に伴い、国際的な衛生管理基準 HACCP に沿った手引書が適用されたことで、豆腐屋を営む県内の小規模事業者が、販売数の減少や事業継承の危機に直面しています。

赤嶺議員は手引書に定められた厳格な温度基準や管理の規定により、三分の一しか店舗に納品できず、売り上げが半減し、結果としてこの数年で十軒ほどが撤退したという当

と、それを県民の運動によって政府に認めさせたこと、沖縄戦後、主に女性の生業として豆腐屋が発展してきたことなど、島豆腐の歴史にも言及。県民に親しまれてきた島豆腐には、魅力ある歴史がぎっしりと詰まっています。あちこーこー豆腐が県民のソウルフードとして今後も存続するように、手引書の改定に向け、赤嶺議員の今後の動きに期待が高まります。



## この間の行動

- 「ミサイル配備から命を守るうるま市民の会」とうりずんの会との意見交換会(4月23日)
- 全港湾メーデーに、渡久地修、比嘉瑞己両県議とともに参加(同30日)
- 県労連メーデー参加。沖縄医療生協労組新人職員歓迎会(5月1日)



■嘉手納基地防錆施設設置予定地を県議団とともに視察。田仲康栄・元党町議の説明を受ける。(同2日)



- 憲法講演会参加。映画「教育と愛国」の監督、齊加尚代さんが講演。(同3日)
- 辺野古新基地反対請願署名動に参加。(同6日)

あかみね政賢

## 市議・国会議員35年の実績・足跡(1)

赤嶺政賢さんは、一九八五年に那覇市議に当選。三期務める。二〇〇〇年に古堅実吉さんの後を継いで衆議院議員に当選。現在八期。この三五年間で市民・国民の声を議会に届け、要求を実現してきました。この三五年間の主な実績・足跡を連載して記します。

### 那覇市議四年の実績

子どもたちの交通安全を守るために奔走

◎宇栄原小学校聖マタイ前道路の二方通行のスクールゾーンを実現。

◎小椽小学校の通学路の崖崩れを改修。

◎金城小学校通学路(小椽市営住宅)前に信号灯の設置。

◎高良小学校の通学路に信号設置。(赤嶺セイケンだより)第1号、1989.5.10)

### 宇栄原マチカ(我那覇後原)の那覇市への編入作業調

地形や日常生活の面で那覇市と一体の地域が行政的には豊見城村に属して不便な生活を



変則的な生活を強いられるようになった大きな原因は一部保守政治家の無計画な区画整理によるものです。

この四月には同地域の子供たちの高良小学校への編入がセイケン市議の奮闘で実現しました。今回は地域全体が那覇市になるため住民の不満が一挙に解決されます。順調にいけば九月議会には提案できると担当課長は語っています。(「小椽民報」第9号、1990.5.20)

(注)その後、保守系議員の巻き返しがあり編入問題は解決されていません。現在、豊見城と那覇の共産党市議団が解決に向け粘り強く頑張っている。